

「だれもがだいすきな水守の郷七ヶ宿」の実現に向けて

平成二十二年第一回定例議会が、三月五日から十七日までの日程で開催され、初日には町長の施政方針が述べられました。

今回は、施政方針を要約し、平成二十二年度の予算や取り組み事業について紹介します。

水守の郷七ヶ宿のはじまり

平成十二年四月に平成二十一年度を目標年度とした「新世紀七ヶ宿町総合計画」（第四次七ヶ宿町長期総合計画）がはじまり、「ひとびとが集いやすらぐまち、ふるさと七ヶ宿」をまちの将来像として、町政の各分野にわたりまちづくりを展開してきました。

平成二十二年四月、新しい時代に向けたまちづくりを推進するために第五次七ヶ宿町長期総合計画「だれもがだいすきな水守の郷七ヶ宿」としてはじまります。

住民が「くらす」ため、住民を「まもる」ため、住民が「まなぶ」ため、住民が「くらす」ための取り組みを展開してきます。

将来的な地域づくりを担う子どもたちの心身ともに健やかな成長を促すため、また、少子化に対応した子育て環境の整備と保護者経済負担の軽減を図るため、医療費をはじめとした助成措置を継続するとともに、新たに子ども手当を計上し、町の基盤となる若者の定住化と子育て支援の更なる充実を図って参ります。

社会的に弱い立場にある障がい者の方だれもが快適に自分らしく生活ができる共生社会の実現を目指し、医療機関との連携による訓練やリハビリテーションの環境整備を図るほか、人工透析患者に対する交通費の助成措置を講じ、地域で安心して生活が続けられるように支援してまいります。

疾病の早期発見治療のための必須の要件である

ていけるためのスタートの年度であることを認識した予算を組んでおります。

住民が「くらす」ため

三年目を迎える「元気な地域づくり交付金事業」は、各地区それぞれ特色ある事業に取り組んでおります。各地区から要望のあった予算を計上しています。

平成二十二年九月三十日にミヤコーバスが運行している白石・七ヶ宿線が廃止されることから、代替え運行を行うために必要なバス一台の購入費を計上し、適切な運行を行います。

雇用対策では、国の施策を有効に活用し、雇用の安定と生活支援を図り、地域経済の元氣回復に努めて参ります。

水田農業の振興につきましては、「産地確立交付金制度」から「戸別所得補償モデル対策制度」に移行し、大きな転換期を迎えることとなります。生産数量目標の過不足調整

は従来にも増して大きくなり、町としての明確に支援するため、所要な経費を予算措置いたします。

住民が「まもる」ため

昨年実施されました観光イベント「仙台・宮城伊達な旅キャンペーン」の成果をふまえ、観光地の魅力や隠れた地域資源を活かした七ヶ宿ならではの「おもてなし」が、観光客の誘致と定着化に結びつけたいと考えております。

七ヶ宿スキー場につきましては、老朽化に伴いゲレンデを整備する圧雪車を更新するための購入費を措置しております。

道路整備につきましては、関大橋の耐震補強の詳細設計を進め、工事を推進してまいります。ほか道路維持に関しては八十九路線の町道について、住民の生活路線の確保を図るべく必要な予算を計上したところがあります。

商工業の振興につきましては、商工会員の要となる商工会の役割と責務

を整対策として「地域とも補償制度」により、不交付農家の解消、農家の所得向上と遊休農地の活用を図るため、この制度を有効に活用して参ります。

農業基盤整備につきましては、約二十一ヘクタールのほ場整備と関用水路改修が計画されております。県営中山間地域総合整備事業七ヶ宿第二期地区」は、来年度からのほ場整備工に向けた実施設計に要する予算を措置し、事業推進のため積極的に支援をして参ります。

有害鳥獣対策でありますが、宮城県、福島県そして山形県の自治体や関係団体で構成する南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会による県域を越えた広域的な事業展開を実施するほか、駆除隊の協力のものと、追い払いパトロールを継続して農作物の被害防止に努めてまいります。

商工業の振興につきましては、商工会員の要となる商工会の役割と責務を整対策として「地域とも補償制度」により、不交付農家の解消、農家の所得向上と遊休農地の活用を図るため、この制度を有効に活用して参ります。

農業基盤整備につきましては、約二十一ヘクタールのほ場整備と関用水路改修が計画されております。県営中山間地域総合整備事業七ヶ宿第二期地区」は、来年度からのほ場整備工に向けた実施設計に要する予算を措置し、事業推進のため積極的に支援をして参ります。

有害鳥獣対策でありますが、宮城県、福島県そして山形県の自治体や関係団体で構成する南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会による県域を越えた広域的な事業展開を実施するほか、駆除隊の協力のものと、追い払いパトロールを継続して農作物の被害防止に努めてまいります。

商工業の振興につきましては、商工会員の要となる商工会の役割と責務を整対策として「地域とも補償制度」により、不交付農家の解消、農家の所得向上と遊休農地の活用を図るため、この制度を有効に活用して参ります。

は従来にも増して大きくなり、町としての明確に支援するため、所要な経費を予算措置いたします。

住民が「まなぶ」ため

昨年実施されました観光イベント「仙台・宮城伊達な旅キャンペーン」の成果をふまえ、観光地の魅力や隠れた地域資源を活かした七ヶ宿ならではの「おもてなし」が、観光客の誘致と定着化に結びつけたいと考えております。

七ヶ宿スキー場につきましては、老朽化に伴いゲレンデを整備する圧雪車を更新するための購入費を措置しております。

道路整備につきましては、関大橋の耐震補強の詳細設計を進め、工事を推進してまいります。ほか道路維持に関しては八十九路線の町道について、住民の生活路線の確保を図るべく必要な予算を計上したところがあります。

商工業の振興につきましては、商工会員の要となる商工会の役割と責務を整対策として「地域とも補償制度」により、不交付農家の解消、農家の所得向上と遊休農地の活用を図るため、この制度を有効に活用して参ります。

農業基盤整備につきましては、約二十一ヘクタールのほ場整備と関用水路改修が計画されております。県営中山間地域総合整備事業七ヶ宿第二期地区」は、来年度からのほ場整備工に向けた実施設計に要する予算を措置し、事業推進のため積極的に支援をして参ります。

有害鳥獣対策でありますが、宮城県、福島県そして山形県の自治体や関係団体で構成する南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会による県域を越えた広域的な事業展開を実施するほか、駆除隊の協力のものと、追い払いパトロールを継続して農作物の被害防止に努めてまいります。

商工業の振興につきましては、商工会員の要となる商工会の役割と責務を整対策として「地域とも補償制度」により、不交付農家の解消、農家の所得向上と遊休農地の活用を図るため、この制度を有効に活用して参ります。

農業基盤整備につきましては、約二十一ヘクタールのほ場整備と関用水路改修が計画されております。県営中山間地域総合整備事業七ヶ宿第二期地区」は、来年度からのほ場整備工に向けた実施設計に要する予算を措置し、事業推進のため積極的に支援をして参ります。

特別会計について

国民健康保険、老人保健、簡易水道、町営バス、公共下水道、介護保険、介護サービス、後期高齢者医療特別会計については、本来の目的、役割を明確にし、経営の健全化をさらに推進します。

具体的な内容については、次のページをご覧ください。

住民健診は、心疾患の受療率や死亡率等を考慮し、心電図検査と貧血検査を追加いたしております。また健康な熟年世代を迎える体制整備を充実させるため、四〇歳未満の若年層も対象とし、料金は従来通り無料化を継続して参ります。また、インフルエンザなどの予防接種に加え、今年度からは乳幼児の髄膜炎の予防としてヒブワクチン予防接種に係る費用についても助成対象に加えました。

保健・福祉・医療の一体的なサービスを提供する拠点施設としての保健センターの役割は、年々需要が拡大しております。多岐にわたる相談窓口としての十分な機能が發揮できるように体制の整備を行うとともに、サービスを提供している町民をタイムリーに発掘できる体制を確立して参ります。

住民が「まなぶ」ため

各学校に地域の特性や課題に対応した教育活動をとおして、児童生徒の